

(別紙)

令和7年12月定例会議 一般質問

1番議員 清水 友紀

「教育のまち」「スポーツのまち」、足柄の中心地にふさわしい教育環境を

昨今の社会問題である、教員の成り手不足や、増加しつづける不登校児童数といった大きな課題が、開成町においても生じている。また足柄上郡一帯では、少子高齢化も進んでいる。

長く「教育のまち」「スポーツのまち」を掲げ成長してきた本町だが、コロナ禍を経て、町内外の環境も変わり、子どもや保護者の価値観は変容していると考えられる。

時代や環境の変化に対応し、本町や、足柄の地域性の良さを生かした、人の繋がりが感じられる質の高い教育。今後は、それを追求し取り組んでいくことが、この先、開成町をより際立たせるとともに、持続可能な町の成長につながるものと考える。そこで、次の項目について問う。

- 1 現状の図書室等を活用した、読書環境の充実は図られているか。
- 2 中学校の部活動の地域移行の効果と今後の展開は。
- 3 家庭の経済状況や地域性による教育・体験格差をなくす町独自の取り組みは。